「地域を愛し、自分で考え 自分で行動する子ども」を育てる

# コミュニティ・スクール 通信

令和５年度　第５号　２月２８日

日の里学園コーディネーター　北岡 隆博

## 「９年生を送る会」で９年生が圧巻の合唱

２月２６日（月）に「９年生を送る会」が行われました。これまでコロナの影響で中止になったり、オンラインになったりしましたが、４年ぶりに５年生から９年生までの児童生徒と地域の方々や保護者が集って本来の形で実施することができました。

この行事は、卒業間近な９年生に、学園の小学１年生から中学８年生の児童生徒たちが感謝の気持ちを伝える行事です。一方、９年生にとっては、モデルとしての姿を示し、後輩たちにバトンを渡すための行事です。

プログラムは、西小、東小１～４年生からのビデオメッセージ、５年生、６年生の合同合唱、７年生、８年生、９年生合唱、そして生徒会役員からのメッセージでした。

東小の６年生はバスでまず西小体育館に移動し、西小の６年生と一緒に中学校の校舎や授業の様子を見学しました。東小の５年生もバスで西小に集合し、西小児童と持参した弁当を食べ、体育館で合同の練習をしました。５、６年生はそれぞれの学校で練習を重ねていましたが、合同で練習する機会は初めてでした。練習でも本番でも心を一つにして、美しいハーモニーで歌い、感謝の気持ちを伝えました。

続く７年生、８年生も安定した歌声で、９年生への感謝の思いを込めて美しく合唱しました。

そして最後は９年生の合唱。女子の澄んだ高い歌声と男子の力強くも美しい歌声の響きは、「さすが、学園のモデル」と感じさせる素晴らしさがありました。

小学５、６年生は直接中学生の合唱を聞いて一人一人の表情と美しいハーモニーに圧倒されていました。会場の保護者や地域の方々からも、「やはり９年生は違う」「全身で感動した」という声が聞かれました。

卒業を目の前にして、学園の最上級生が合唱やメッセージを通して感謝され、一方でリーダーとしてのあるべき姿を示す「９年生を送る会」のすばらしさをあらためて感じました。